

CASBEE-建築(新築)2016年版
重要港湾舞鶴港 京都舞鶴港(海の京都駅(仮称))推進工事(公共)

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体			
		Q 建築物の環境品質							2.1
Q1 室内環境			0.30		-		1.8		
1 音環境		1.0	0.15		-		1.0		
1.1 室内騒音レベル		-	-		-				
1.2 遮音		-	-		-				
1 開口部遮音性能		-	-		-				
2 界壁遮音性能		-	-		-				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-				
1.3 吸音		1.0	1.00		-				
2 温熱環境		1.0	0.35		-		1.0		
2.1 室温制御		1.0	1.00		-				
1 室温		-	-		-				
2 外皮性能		1.0	1.00		-				
3 ゾーン別制御性		-	-		-				
2.2 湿度制御		-	-		-				
2.3 空調方式		-	-		-				
3 光・視環境		2.3	0.25		-		2.3		
3.1 昼光利用		3.4	0.30		-				
1 昼光率		3.0	0.60		-				
2 方位別開口					-				
3 昼光利用設備	トップライトを取り付け、昼光の取り入れを図った。	4.0	0.40		-				
3.2 グレア対策		1.0	0.30		-				
1 昼光制御		1.0	1.00		-				
3.3 照度		2.0	0.15		-				
3.4 照明制御		3.0	0.25		-				
4 空気質環境		2.9	0.25		-		2.9		
4.1 発生源対策		3.0	0.50		-				
1 化学汚染物質		3.0	1.00		-				
4.2 換気		2.6	0.30		-				
1 換気量		3.0	0.33		-				
2 自然換気性能	棟にベンチレータを取り付け室内空気の循環を図った。	4.0	0.33		-				
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.33		-				
4.3 運用管理		3.0	0.20		-				
1 CO ₂ の監視		-	-		-				
2 喫煙の制御		3.0	1.00		-				
Q2 サービス性能		-	0.30		-		2.6		
1 機能性		1.7	0.40		-		1.7		
1.1 機能性・使いやすさ		-	-		-				
1 広さ・収納性		-	-		-				
2 高度情報通信設備対応		-	-		-				
3 バリアフリー計画		-	-		-				
1.2 心理性・快適性		1.0	0.50		-				
1 広さ感・景観		-	-		-				
2 リフレッシュスペース		-	-		-				
3 内装計画		1.0	1.00		-				
1.3 維持管理		2.5	0.50		-				
1 維持管理に配慮した設計	勾配屋根と深い軒の出、壁面の水切り、防錆効果の高いステンレス	3.0	0.50		-				
2 維持管理用機能の確保		2.0	0.50		-				
2 耐用性・信頼性		2.9	0.30		-		2.9		
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50		-				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80		-				
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20		-				
2.2 部品・部材の耐用年数		3.7	0.30		-				
1 躯体材料の耐用年数		-	-		-				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.50		-				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	高耐候正塗装	5.0	0.25		-				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	屋根に取り付けるベンチレータは、耐蝕性の高いステンレス製とした	4.0	0.25		-				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		-	-		-				
6 主要設備機器の更新必要間隔		-	-		-				
2.4 信頼性		1.6	0.20		-				
1 空調・換気設備		-	-		-				
2 給排水・衛生設備		1.0	0.33		-				
3 電気設備		1.0	0.33		-				
4 機械・配管支持方法		3.0	0.33		-				
5 通信・情報設備		-	-		-				

3 対応性・更新性			3.6	0.30				3.6
3.1 空間のゆとり			5.0	0.30				
1	階高のゆとり	階高、シャッター開口高さを十分な高さとした	5.0	0.60				
2	空間の形状・自由さ	長辺58m短辺27mの無柱空間とした	5.0	0.40				
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30				
3.3 設備の更新性			3.0	0.40				
1	空調配管の更新性		-	-				
2	給排水管の更新性		-	-				
3	電気配線の更新性		3.0	0.50				
4	通信配線の更新性		3.0	0.50				
5	設備機器の更新性		-	-				
6	バックアップスペースの確保		-	-				
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.40				1.9
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30				1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40				3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			1.5	0.30				1.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50				
3.2	敷地内温熱環境の向上		1.0	0.50				
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-				2.1
LR1 エネルギー			-	0.40				1.0
1 建物外皮の熱負荷抑制				-				1.0
2 自然エネルギー利用			-	-				-
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm]: -	-	-				-
4 効率的運用			1.0	1.00				1.0
集合住宅以外の評価			1.0	1.00				
4.1	モニタリング		-	-				
4.2	運用管理体制		1.0	1.00				
集合住宅の評価				-				
4.1	モニタリング			-				
4.2	運用管理体制			-				
LR2 資源・マテリアル			-	0.30				3.3
1 水資源保護			3.0	0.20				3.0
1.1 節水			-	-				
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	1.00				
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70				
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30				
2 非再生性資源の使用量削減			2.9	0.60				2.9
2.1	材料使用量の削減	躯体現わしの内装	2.0	0.10				
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20				
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20				
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	再生クラッシュランの利用	3.0	0.20				
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.10				
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.20				
3 汚染物質含有材料の使用回避			5.0	0.20				5.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用		仕上げ材量が少なく、かつ有害物質を含まない	5.0	1.00				
3.2 フロン・ハロンの回避			-	-				
1	消火剤		-	-				
2	発泡剤(断熱材等)		-	-				
3	冷媒		-	-				
LR3 敷地外環境			-	0.30				2.6
1 地球温暖化への配慮			-	-				-
2 地域環境への配慮			3.0	0.50				3.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25				
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50				
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25				
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25				
2	污水处理負荷抑制		3.0	0.25				
3	交通負荷抑制	隣棟間隔を広くした	4.0	0.25				
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25				
3 周辺環境への配慮			2.1	0.50				2.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			2.3	0.40				
1	騒音		3.0	0.33				
2	振動		3.0	0.33				
3	悪臭		1.0	0.33				
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			1.6	0.40				
1	風害の抑制		1.0	0.70				
2	砂塵の抑制			-				
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30				
3.3 光害の抑制			3.0	0.20				
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70				
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30				